



# 県民だより

愛の血液 助け合い運動  
7月18日(日)~7月31日(火)

血液で結び 人の心 世界の心

## 創刊号

●昭和54年7月15日発行 ●編集・発行/栃木県企画部広報課 〒320 宇都宮市鳩田1丁目1番20号 ☎0286-23-2158  
●県人口/1,765,697人 男871,714人 女893,983人 世帯数460,902世帯(昭和54年6月1日現在)

### 発刊によせて

#### より開かれた県政をめざして

とちぎ県民だよりの創刊号をお届けします。この広報紙は、県民の皆様の日常生活に、直接関係の深い県政の動きをわかりやすく編集し、少しでも多くの方に県政を理解していただけたらとの願いのもとに、生まれました。

私はこれまでも、世論調査や「知事を囲んで」県政を語る会によって、皆様の声をお聞きするとともに、新聞、ラジオ、冊子などで県政を広報し、積極的に開かれた県政になるよう努めて参りましたが、この県民だよりによって、更に県を皆様の身近かに感じていただけたらと望むものであります。

#### ふるさとづくり県民運動

今日、世の中は激しく移り変わり、人と人とのふれ合いや連帯感、ともすれば失われがちですが、一方では自分の生活や地域のあり方を見直し、心のふれ合う地域社会をつくろうという動きが育ってきています。私たちの住むまちやむらをよい環境にし、問題解決に自主的に参加しようとする活動です。

これらの活動は、地方自治の原点でもあり、県ではこのような社会の動きに対応して「新長期総合計画」を策定し、地域社会づくりに力を入れております。

#### 家庭と県政を結ぶかけ橋に

このような時期にあたり、この県民だよりが、県政情報のあれこれを皆様の身近かにお届けすることによって、皆様と県政を結ぶかけ橋となるように、また皆様のご意見、ご希望をお寄せいただき、喜ばれる広報紙に育てられるようにと心から願って止みません。

栃木県知事 船田 譲

### みんなで成功させよう



栃の葉国体(第35回) 全国身障者スポーツ大会  
夏季大会 55年9月7日(日)~10日(水) (第16回) 55年10月25日(土)~26日(日)  
秋季大会 55年10月12日(日)~17日(金)

●この広報紙は新聞折り込みによりお届けしています。ご近所で未着の方がありましたら、市役所、町村役場、各県民センター等に届けてありますので、その旨おたえください。

# たくましいぞ!! 177万人の大きな手



# 健康くん 康子ちゃん

## お元気ですか



### わが子への愛をどの子にも……

五十四年―ことしは世界のすべての子どもたちの基本的権利を定めた「児童権利宣言」が国連総会で採択されてから二十周年に当たりま

す。このため、国連では「宣言」の精

郷土のあすを担う子どもたちが、健やかに育つことは、県民のたいせきであらぬ願いでしよう。いま県では、国際児童年をきっかけに、子どもたちがより幸せになるためのいろいろな事業に取り組んでいます。



## 子どもの幸せ考えよう!

神を再び確認し、あすの世界の担い手となる子どもたちが元気に育つようにと、ことし(一九七九年)を世界共通の子ども年として、「国際児童年」と定めました。これを受けて、わが国では「わが子への愛を世界のどの子にも」というスローガンのもとに政府、地方公共団体、それに民間が協力して、記念行事や児童のための施策の充実や国際協力などを行っています。

私たちの県でも、わが子のために、世界の子どものために、そして私たちの未来のために県民の誰もが子どもの幸せを考え、そして子どものために一つの行動を起こす年にしていきたいと思います。いろいろな行事や呼びかけを行っています。

### 家庭の役割

自立に向かって成長するために  
子どもの生活の基盤は何といつても家庭にあります。家庭は、子どもの成長に大きな影響を及ぼすことはいままでもありません。社会的行動の基本となる「しつけ」は、やはり家庭の大きな役割といえま



〈ともひでくん、いま熱中している〉  
野球さ、  
ポジション、ファースト。  
将来は建築家になるよ。  
国際児童年? 小山市立  
首橋小六年  
知ってる  
ニューティフル  
野村智秀くん  
ネーム  
だろ。

精神的にも安定し、安心して自立に向かって次の発達段階へと成長するといわれています。いつまでも社会的に自立しない、あるいは社会的にも好ましくない行動に走るというような相談事例の中には、親子の間に愛情の交流が足りなかったというケースが目立ちます。

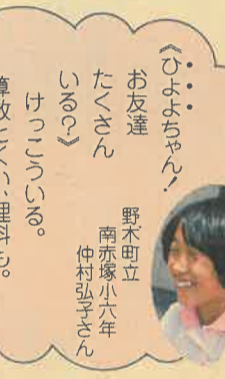
### 地域と環境

子どもは遊びを創り出す名人です  
子どもの生活圏は、年齢とともに拡大します。幼稚園や保育所での集団生活の場は、子どもたちが将来独立した社会人となるための多くのものを学ぶ大切な場となっています。ところで、子どもたちにはもう一つ地域という大切な生活の場があります。地域のもつ機能は、家庭や学校のそれに劣らず重要なものがあり、それは本来身近な仲間たちと「遊び」を中心とした自由な行動を展開しながら、道徳など社会的ルールを身につけていく場でもありま

### 要保護児童対策

のため、その児童の保育に欠けると認められる場合や、保護者のない児童または保護者に監護させることが適当でない児童たちは、各市町村や福祉事務所・児童相談所などで相談に応じています。この場合、その児童の状況に応じて専門職員が指導を行い、必要に応じて各児童福祉施設などに入所(委託)してもらおうという福祉の措置がとられています。

〈ひよちゃん、お友達たくさんいる〉  
お友達  
たくさん  
いるのよ。  
仲村弘子さん  
野木町立  
南赤塚小六年  
仲村弘子さん  
けつこついる。  
算数とく、理科も。  
絵が好き、マンガ家になりた〜い。



## 句碑に芭蕉が生きている 歩いてみよう!水と緑のふるさと、



石垣のある街並



城跡に息づく  
野あさみ  
アユ漁のメッカ、  
那珂川には六月一日の解禁と共に、どっと太公望が糸を垂れ、銀鱈を追っていました。  
にぎやかな河原より街並みの方が静かだという現象も、ここ城下町黒羽ならではの姿ではないでしょうか。それだけに、この町を訪れたなら、小高い地にある黒羽城跡に歩をすめるとよい思い出が残るかも。城跡には土塁や堀が栄華をとどめて往時を偲ぶにふさわしく、また館跡には、手入れのゆきとどいた芝生に混って野あさみが、夏の光にまぶしく輝いて、訪れるものに語りかけるかのようです。  
また黒羽藩主の菩提寺でもある大雄寺(だいおうじ)は近県でも名刹として知られています。その隣には家老であった浄法寺が、いまも居を構えており、芭蕉が滞在したことでも知られ、ゆかりの句碑がいまも八溝の山なみをつめて建っています。  
このほかにも芭蕉の句碑があちこちにあり、芭蕉ファンといわず、句碑めぐりだけでもけっこう楽しい一日を過ごすことができる诗情豊かなふるさとです。

## 翔んでとちぎ路

### 天然冷房の大谷採掘場跡

赤川ダムのそばで  
キャンプもできるよ!  
●宇都宮市●新名所大谷

ある学者が、大谷石の地下採掘場を「未知なる空間」と名づけたそうです。薄暗い階段をおりると、あたりの冷気に背筋がゾクゾク…。奥に進むにつれて眼下に広がる巨大な空間がそれ。その広さは後樂園がすっぽり入ってしまうほどの大きさで、最深部は六十メートルあるというから、さながらSF小説に登場する「未来の地下都市」を連想させます。  
この坑内は、一年を通じて気温が変らず、真夏でも十三度前後というから、消エネそれどこの国の話」といわんばかりのうらやましい天然冷房。

この採掘場跡は、戦時中軍の地下倉庫や軍事工場に利用され、最近では米の貯蔵庫にも活用されたからだから、この「未知なる空間」はどうしてどうして貴重な空間でもあるわけです。  
最近脚光を浴びた宇都宮に、このほか採掘に使われた道具類が展示され近くには多気不動尊や赤川ダムを中心としたハイキングコース、キャンプ場などを備えた森林公園があって、家族連れなどでにぎわっています。



大谷石地下採掘場跡  
(問い合わせ先—宇都宮市自然休養村管理事務所・52-3450)

## 宮市での集い

文化の発展をもとめて……

参加の県政をすすめている県では、新たな試みとして、県政の主要課題について、県民のみなさんに自由な話し合いをしていただく場として『県民の集い』を開くことになりました。

県民の連帯の芽を伸ばして、いこうというのが大きなねらいです。今回のテーマは「ちぎの文化の発展をもとめて」ですが、文化のつ今日の問題をどうえ、これからは文化活

# 農業をみつめて



牛の放牧風景(芳賀町)



カーネーションの温室栽培(南河内町)



● **栃木県の農業はいま...**  
 本県は、農業の基盤となる土地が広く(耕地面積全国一三位・水田七位)また水も比較的豊富です。更に京浜地域という大消費地を近くに控えた恵まれた立地条件を生かし、県内はもとより、主に首都圏に対する生鮮食料品の供給という役割を果た

● **栃木県の農業はいま...**  
 農業—それは人間生活に欠かすことのできない食糧の生産を受けつづける大切な産業です。また生産活動を通じて、県土や自然環境を保つ重要な役割も果たしており、共同作業や冠婚葬祭など、農村ならではの人間関係が密で健全な地域社会の発展にも大きな力となっています。さらに最近では、豊かな自然環境が都市に住む人々には、レクリエーションの場として見直されるなど、農村の役割はますます広がっています。

● **栃木県の農業はいま...**  
 してきました。農業生産をみても、全国で上位クラスのものたくさんあります。例えば、いちご、かんぴょう、桑苗などの生産は全国一で、ビール麦第二位、さといも、らっかせい、こんにやくいもが第三位、陸稲、六条大麦第四位など多彩です。このほか本県農業の特徴として、次のような点があげられるでしょう。現在の農家は約十五万五千戸ですが、一戸当たりの耕作面積は一・四畝(全国一・一五畝)で規模が大きく、特に二畝以上の規模の農家は、関東で第一位、全国でも第六位を占めています。また農業機械の普及もめざましく、全国的にも注目されているほどです。

● **魅力あふれる農村をめざして**  
 農村社会は、昭和四十年代の高度経済成長とともに、大きな変化をたどってきました。例えば、農家の兼業化が進む一方、農村地域に農家以外の世帯が増加し、いわゆる混住化が進みましたが、この混住化社会によって農村の生活様式が大きく変わってきたことです。このような農村の都市化に伴い、昔のように集落としての機能が果たせなくなったり、若者の農外流出などによって、後継者の確保が困難になるなどの問題も出てきました。

● **魅力あふれる農村をめざして**  
 農民の食糧を生産するという重要な役割を担う農業を守り育てるためには、農業生産に携わる農業者はもちろん、地域全体の協力を得ながらこれらの課題の解決を図ることが必要となっています。このため、住みよい魅力あふれる農村づくりをめざして、県ではいま新しい村づくりを進めるモデル事業をはじめ、各種の事業を実施しています。このように新しい村づくりは、農業者だけでなく、集落内のすべての人たちの参加と、その創意工夫を生かし、あわせて一般農家の皆様の理解と協力を得ながら、いま農

● **魅力あふれる農村をめざして**  
 中でも最も深刻なものは米の過剰問題です。この問題解決のため、米に代って生産不足の麦、大豆、飼料作物などの生産拡大を図ろうと現在農業者の協力を得て、県や市町村、農業団体が一丸となって取り組んでいます。また年々消費の減っている米については、栄養的にも一級の主食であることを見直し、米の消費拡大運動を展開しています。



● **これからの本県農業**  
 これからの本県農業は、恵まれた自然的条件と、首都圏という大消費地を近くに控えていることなどから、需要に応じた品質のよい農産物を豊富に安定した形で供給するという役割が、一段と強く要請されると考えられます。そのため、地域のもつ特性を最大限に生かし、耕地の有効な利用を図って、生産性の向上と生産の拡大を進めることが必要です。このため、県では農業振興のための基礎的条件である農用地の確保と担い手の育成を図ると共に、各作物の生産対策を進めるほか、価格安定策、流通条件の整備などを強力に進める一方、農村の生活環境の整備も積極的に進めていく方針です。

● **これからの本県農業**  
 村がかかえる問題の解決を図り、農村の繁栄をめざそうというものです。こうした村づくりは、昨年から今市市、二宮町、高根沢町で進められ、さらに本年度からは栃木市、黒磯市、南那須町でも実施されることになりましたが、今後も地域農業発展のため、県では地域の望む事業を積極的に実施していくことになっています。



● **母子保健対策**  
 健全な赤ちゃんは、健全な母体からといわれています。このため県や市町村では、婦人の健康づくりや妊産婦健康診査など母体保護のための事業を実施しています。また乳幼児の健康を守るための検査をはじめ、一歳六カ月児及び、三歳児健康診査、さらに四歳児対象の幼児心臓検査などを行っています。このほか乳児医療の無料化などの制度をすすめています。

● **母子保健対策**  
 健康やかに育てるために... 保護者が働いていたり、病気など保育に欠ける子どもの幸せ

● **母子保健対策**  
 地域社会が受持つ役割は大きい 子どもたちが、心身ともに健康やかに育成されるためには、家庭とともに地域社会における愛護と積極的な育成指導の体制を整えることが重要で、このため県では児童のための地域組織活動(子ども自身の集団活動としての子ども会、親による子どもの育成活動としての母親クラブ、子ども会育成会など)を応援するよう働きかけています。



● あなたの参加を待ちしています。

● **9月1日宇都県民**

この県民の集いは、みなさんが、一つのテーマについて日ごろ考えておられることを意見などをフランクに交換すること

● **9月1日(土)午後1:30~4:30まで**

● **募集人員:** 五人(意見発表者) 一五〇人(一般参加者)

● **応募方法:** 意見発表者は一人五分程度です。発表希望者は、テーマに関する意見を、〇〇〇字以内にとりまとめて、近くの県民センターに申し込んでください。また一般参加の方は、ハガキまたは電話で県民センターに申し込んでください。(住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号を明記)

● **締切り:** 意見発表者は8月4日(土) 一般参加者は8月11日(土)

● **申込み先問い合わせ先:**

- 栃木県商工会館(宇都宮市)
- 中央県民センター(宇都宮市塙田一―二〇県庁第二庁舎内)
- 東部県民センター(栃木市神田町六―六下都賀庁舎内)
- 東部県民センター(大田原市中央一―九一九那須庁舎内)
- 県企画部広報課(宇都宮市塙田一―二〇県庁本館2F)

☎ 22-293



地域の清掃

学習できるような条件を整えることが大切です。このため、幼稚園や県立高校の整備をはじめ、公民館や図書館など学習の場の整備や、婦人学級など学習機会の充実が努められています。また、本県の恵まれた自然や文化財、さらにお祭りなどの伝統を大切に保存し、私たちの生活の中に生かすため、博物館、植物園、文化会館などの施設整備と、県民のみならずの文化活動をより活発にするための援助なども真剣にすすめています。

「私」にお年よりや、からだに障害のある人たちなど、特に社会的に弱い立場にある人たちに對しても、いろいろな福祉施設を整備するなど、公的なサービスの充実が努力されています。また、これらの人たちができるだけ在宅のまま生活できるようにユニティ・ケアの促進など福祉活動へも温かい手をさしのべています。さらに、県民の健康を守るための保健・医療面については、救急医療体制の整備、それに医療にたずさわる人たちの確保など、できるだけかかりの保健・医療サービスをいつでも県民に提供できるように、その体制づくりに取り組んでいます。

あるボランティア・グループが取材しと聞いてどんな集団だろうかと想像しながら現地に向かいまわった。ところが、目の前を子供たちと走りぬけていく高校生がそれと知ったときは、ほっとしました。

定員四十人の子供たちとの出会いには二年前、「すこし社会に出よう」という部員の提案がきっかけとなり、それ以来、月二、三回の割合でここを訪れ、子供たちと遊んだり、繕いものを手伝ったりと、すっかり仲よくなりました。

重いハンディを克服している子供たちをみていると、「かわいそう...」なんて甘い同情は吹っ飛んでしまおう。子供たちのたくましさ、可能性から多くの事を学びとることが出来るから...。そしてボランティアにスタイルはないとも語ってくれました。がんばれ/石高JRC部!。

(石高高校JRC部顧問・渡邊隆、福田泰子両先生、部長・木根和子さん(二年)

石高高校JRC部と国分寺学園児の友情  
楽しい語らい

友達がやってきた

しもアサの

**み** んで手をつなぎ、心をふれあいながら、生きがいのある生活ができることは、県民みんなの願いです。県では去る五十一年に、多くの県民の参加と協力を得て、六十年を目標にした「新長期総合計画」をつくりました。

**す** 生きがいと幸せをもたらす社会福祉の充実。すべての人々が、生きがいをもて、幸せな生活をおくれるように、社会福祉をより充実していくことは、人間を大切にする県政の基本です。県では、こうしたことを

**私** たちの生活の場は、まず安全で、しかも快適であるように整備されなければなりません。そこで、上・下水道、道路、公園など、日ごろの生活に密着した施設の整備を重点に、そうした暮らしやすい生活の場づくりにすすめています。また交

**こ** の計画では、「連帯感あふれた地域社会栃木県づくり」をその目標にしています。このため県では、いろいろな事業に取り組んでいます。

**心** の豊かさ創造性に富む人づくりの推進。子どもからお年よりまで、だれもがいつでも教育をうけられ、

木の香につつまれた館内は、山村の生活を紹介するパノラマ模型などもあり、子供たちが楽しめる森林学

**私** たちひとりひとりが、安定した生活を築くためには、県内産業のいっそうの発展を図ることが肝要です。私たちの暮らしに欠かすことができない食糧供給など大切な役割をもつ農林業は、生産基盤の整備をはじめ、担い手の育成、そして流通機構の整備などによって、その振興を図っています。

# こんにちは

矢板市街から、雨あがりの林道高原線を車でおよそ三十分、途中リンゴ畑や鱒の養殖場、樹々の間に見え隠れする宮川を右に左に見て、着いたところは、緑降る「県民の森」。

## 緑降る県民の森 矢板市

森の中の施設をいくつかのぞいてみましょう。まず鳥獣展示館には、県内で見られる鳥獣が生態にあわせてわかりやすく展示されています。もちろんハク製ですが、中でもキツネの顔がとても印象的でした。ハク製になってもバケるのかしら...



木陰から小鳥の声も... (栃木県民の森管理事務所 ☎二八七四〇〇四八〇)

# あすのどちぎけん

## 新長期総合計画にみる

この森は、明治百年を記念して高

習展示館、そして野鳥観察施設など

七月十五日は県民の森キ

あすのどちぎけん

あすのどちぎけん

# ふるさと・あれこれ

**お知らせ**  
●中卒程度認定試験/試験日11月9日(8月14日~9月13日まで)県教育委員会義務教育課で受けつけます(問) ☎0286(23)3392へ。  
●教員の資格をとる人へ/第1次試験...8月19日(小学校教員は8月25・26日)・場所...東京会場は東京芸術大学(小学校教員は東京芸芸大の定める場所)(問) ☎0286(23)3385へ。  
●労働通信教育講座/9月~55年3月まで/内容...基本コースと専門コースに分れ、高卒程度の学力があればどなたでも参加できます。8月15日までに近くの労政事務所へ申し込んでください(問) 県労政課 ☎0286(23)3217  
●宅地建物取引主任者資格試験/試験日...10月21日・場所...宇都宮工業高等学校(最寄りの土木事務所)で9

月3日から7日まで受けつけます(問) 県住宅課 ☎0286(23)2485  
●夏の交通安全県民総ぐるみ運動/7月16日~25日まで(暑〜い!この時期に交通事故が多いです)  
●配給米の「中米」がおいしくなります/9月下旬まで特別流通対策を実施。コシヒカリを中米原料として大幅に混米、値段は変わりません。  
●交通事故巡回相談/7月分=足利市役所...17・24・31日・佐野市役所...26日・小山市役所...24日・鹿沼市役所...16日・今市中央公民館...19日・真岡市役所...25日・矢板市役所...17日・黒磯市役所...24日・烏山八雲会館...20日/8月分=足利市役所...21・28日・佐野市役所...23日・小山市役所...28日・鹿沼市役所...20日・今市中央公民館...16日・真岡市役所...22日・矢板市役所...21日・黒磯市役所...28日・烏山八雲会館...20日。

**催し物**  
●映画の集い/7月22日午後1:30~・県立図書館1Fホール(入場料無料)内容=首都東京・日本の花火・日本の文様など(オールカラー)  
●平常展は版画です/6月23日から県立美術館で古川竜生、川上澄生、内田進久展。7月17日からは馬頭町出身の版画家深沢史朗遺作展も同時。8月19日まで。観覧料/大人100円・大学高校生60円・中学小学生40円(団体は割引)(問) ☎0286(21)3566  
●手仕事の歴史と美をさぐる/7月20日~8月31日・県立郷土資料館・内容=下野手仕事会の会員56人の作品と、原始、古代、中世、近世の作品。観覧料無料 ☎0286(22)1282  
●働くものの音楽祭/9月9日・栃木会館大ホール・参加資格...地域の

勤労者によって編成された3人以上の団体・7月20日までに近くの労政事務所へ。(問) 県労政課 ☎0286(23)3217

**募集**  
●あなたのセンスを期待/内容=54年の工業統計調査用ポスターで、ユニークなデザインのもの/用紙の大きさはB3版でタテ長・使用する色は4色・図案に入れる文字はく通商産業省・昭和54年12月31日・工業統計調査)・締め切り/54年7月25日・送り先/東京都千代田区霞が関1の3の1通商産業省大臣官房調査統計部工業統計課/(問) 県統計課・市町村統計主管課。  
●統計グラフィコンクール/対象...県内の小中高生、専・大学、一般/題は自由/締め切り・54年9月7日までに県統計課(☎0286(23)2243)または

各市町村統計主管課へ。  
●いいスローガンある?/第16回全国身体障害者スポーツ大会を本県で開催するにあたり、身障者の自立更生にふさわしく明朗、友愛、積極性を表わしたものを締め切り...54年7月31日/送り先...県庁内全国身体障害者スポーツ大会県実行委員会 ☎0286(23)3037  
●空いてます県営住宅/細谷住宅(宇都宮)16戸/真野住宅(宇都宮)48戸/田野住宅(真岡)11戸/平田住宅(高根沢)16戸/埼玉住宅(黒磯)17戸/申込先...細谷・野沢・田野住宅は県住宅管理公社 ☎0286(21)2055/平田住宅は矢板土木事務所 ☎02874(4)2185/埼玉住宅は大田原土木事務所 ☎02872(3)6611です。

●次回、11月15日発行の予定です。